

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成27年度】

主管課名(担当名)	教育総務課(学校教育担当)		
事務事業名(事業番号)	学習サポート教室開催事業	事業番号	12239
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-3 義務教育の充実
	施策目標	確かな学力を身につけ豊かな人間性を育むまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	小学校3年生～6年生及び中学生
	対象者の今後の予想	年々減少と予想
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	夏季休業期間を利用して、北海道教育大学釧路校の学生や市学力向上補助教員等を講師として、小学校3年生～6年生及び中学生を対象として学習サポート教室を開催する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	児童生徒一人ひとりが自己の学習課題に取り組む態度を育てるとともに、学習のつまづきへの支援を行い、基礎・基本的な学力の定着を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 学習サポート教室の参加人数	70名	15名					70名	70名
2 参加者アンケートで「学習が進んだ」と回答した割合	90%	94%					100%	100%
3								
4								
事業費(=下記内訳計)			H27予算		H27決算		H28予算	
			329		150		262	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				329		150	262
人員(人工)					0.08		0.08	0.08
職員人件費(=人員(人工)×8,081千円)					646		646	646
総事業費(=事業費+職員人件費)					975		796	908
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					13		53	
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					10		8	

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	児童生徒が興味関心を高められる実施形態を検討する。
今後の動向・市民ニーズなど	少なからずニーズはあるが、年々参加者数が減少している。

5 事務事業の評価

	<input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	実施後のアンケート結果からも、学習が進んだと回答した割合が非常に高い。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	北海道教育委員会の学校サポーター派遣事業では、民間等のサポートは対象外のため不可能。
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	実施形態や開催期間の再検討の必要性あり
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	北海道教育委員会の学校サポーター事業を活用することで、旅費補助等によりコスト削減が図れる。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	類似する事業がない。
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	実施形態を宿泊型へ変更する場合は、食費及び保険料等について負担の必要はある。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成28年7月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成27年度】

主管課名(担当名)	教育総務課(学校教育担当)		
事務事業名(事業番号)	学力向上対策事業	事業番号	12406
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-3 義務教育の充実
	施策目標	確かな学力を身につけ豊かな人間性を育むまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内小中学校生徒児童(市街地地区及び歯舞地区)
	対象者の今後の予想	増加傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	市内小中学校(北斗小・花咲小・成央小・光洋中・柏陵中・啓雲中・歯舞中)に補助教員を配置し、チームティーチング、少人数指導、習熟度別指導、放課後や長期休業中の補習を行う。また、独自の学習ドリルの配布や、学校ごとの課題に応じた学力対策を講じるための補助金を交付する。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	当市における学力は著しく低く、基礎学力の底上げを図ることが喫緊の課題であることから、「根室市確かな学力向上に関する取組方針」を核として児童生徒の学力向上を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 学力向上等対策補助金の交付学校数(小学校・中学校)	1校	1校					15校	15校
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H27予算		H27決算		H28予算		
		22,442		9,456		23,787		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他		93		37		93	
	一般財源		22,349		9,419		23,694	
人員(人工)		0.08		0.08		0.08		
職員人件費(=人員(人工)×8,081千円)		646		646		646		
総事業費(=事業費+職員人件費)		23,088		10,102		24,433		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		23,088		10,102				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	3カ年方針「根室市確かな学力向上に関する取組方針」を評価・検証しながら、基礎学力の基礎定着を図る。
今後の動向・市民ニーズなど	学校現場からの配置要望が強く、市民意識調査でも教育内容の充実は重要項目第3位である。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	TT指導や習熟度別指導などにより、きめ細かな指導を行うことができ、基礎学力の向上に一定の効果がある。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 教職員定数は、児童生徒数に伴う学級数から割り当てられており、道による正規教職員の配置は困難なため、市独自での配置方法以外にはない。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 3カ年方針を評価・検証しながら、より効果的な事業を実施していく。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 主な事業費は人件費である。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 類似する事業はない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 義務教育は、個人の所有物に属する経費以外は、無償が原則であることから、児童生徒が授業料を負担することは、憲法上できない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成28年7月